

【20-852 M1 エンドレス線路基本セット マスター 1】もしくは人気の車両がセットになった【スターターセット・スペシャル】に、単品を組み合わせて本線エンドレスを作っています。その本線エンドレスの中に【20-863 V4 対向式ホーム用小形電動ポイントセット】、【20-283 電動ターンテーブル】と、その拡張製品である【20-085 ターンテーブル拡張線路セット（直線）】、【20-086 ターンテーブル拡張線路セット（曲線）】、【23-240 扇形機関庫】、単品製品各種を用いて機関区を持つ終端駅を構成しています。

駅を発車した列車は本線エンドレスを経て、駅に逆向きになって戻ってきます。到着した列車の機関車は切り離して機関区に整備に入り、代わって整備済みの機関車が出場し、列車に連結して再び発車していく蒸気機関車の一連の運用を楽しみましょう。



ターンテーブルは回転する桁の停止した両端に走行電流を供給しますので、桁が180度回転すると走行電流の極性が逆になります。ターンテーブルを含む機関区部分は【絶縁ジョイナー】を用いて、接続される駅構内と電気的に分離して走行をコントロールします。

ターンテーブルを含む機関庫部分は本線とは別のパワーパックを用いることで、本線や駅とは独立して機関庫内での機関車の転線、方転、給炭、給水などのシチュエーションを楽しむことができます。

【列車運用例】

- 1：本線へのポイント開き、列車は駅から出発して本線に入ります。
列車が本線に入りきったらポイントを切り換えて周回運転を行います。
- 2：列車が駅に戻ってくるための準備をします。
列車は駅に向かって逆向きに戻ってきます。駅構内走行電源の+-極性反転の必要があるので【逆転スイッチ】を切り替えます。

※本線走行の進行方向の切り換えはパワーパックの進行方向切り換えスイッチで行います。
駅構内の進行方向の切り換えは逆転スイッチで行います。

- 3：本線ポイントを切り換えて駅構内に進入します。
手前2線が停車線、一番奥が機回し線です。
- 4：牽引していた列車から機関車を切り離します。
- 5：転車台を使って機関車を給水・給炭線へと進入させ、水と燃料を補給します。
- 6：別の機関車を使用する場合は、車庫から別の機関車を引き出します。
転車台で機関車を出発方に向け、一番奥の機回し線から列車の前に移動させます。
- 7：列車を連結し、出発準備が整ったら本線に向けて出発します。